

町長の行政報告を

お知らせします

八峰町6月議会定例会が20日から22日までの会期で開かれ、町長の行政報告や一般質問、補正予算の議案審議などが行われました。
町長の行政報告の中から主な要旨をお知らせします。



庁舎建設予定地の 地権者との交渉が進む

役場庁舎の建設用地については、先の議会で方向付けされた水田の地権者との間で用地交渉を進めてきました。その結果、今議会に土地取得費の追加をお願いしたところで、土地の取得については収用法に基づく租税優遇を受け

峰浜地区の防災行政無線 契約業者決まる

峰浜地区の防災行政無線工事については、業者が決まり、

自殺者ゼロに向けて 心の健康づくり調査などを 実施します

工場での機材の製造に入ったところで、今後関係自治会への説明会などを実施し、工期内完成を目指します。

自殺予防対策については、昨年、山本地域振興局の全面的な支援を受けながら、町民の関心と予防対策の機運を盛りあげることができたと考えていますが、今年度も「社会的問題である自殺」について、対策の手をゆるめず、町の自殺者がゼロになることを目標に対策を推進します。

事業として、研修会・地区講座・フォーラム・ふれあいネット会議の開催等計画していますが、住民全体の心の傾向を把握し今後の対策に役立てるため、この6月に基本健康調査受診者を対象に「心の健康づくり調査」を実施します。データ入力、解析、報告書作成を秋田大学医学部に依頼し、10月28日の自殺予防フォーラムにおいて、「調査から見えてくるもの」と題して、結果と合わせて佐々木久長準教授からご講演をいただく予定です。

八森地区 ゴミ収集ステーション化 地区説明会を実施

平成20年4月1日から始まる八森地区ゴミ収集ステーション化については、2月下旬から地区住民説明会を開催しており、5月10日で15地区すべての説明会を終えました。説明会では住民の皆様から忌憚のないご意見を頂戴しました。今後は、地域事情等も



交流サロン実施に向けて現地視察

品目横断的経営安定対策 118経営体が申請

十分考慮しながら、具体的なステーション化に向けた取り組みと諸準備を進めていきます。

今年度からの農政改革の一つである品目横断的経営安定対策への加入受付は4月2日から7月2日までとなっており、残すところ1ヶ月を切ったところです。

この間、J.A. 役場・農政事務所の関係機関が連携して説明会の開催や加入申請手続きの支援を行ってきました。5月末現在の申請予定者の状況は、認定農業者については認定者158人中117人、集落営農組織では1組織、合計で118経営体となっています。今後残された期間で、加入要件を満たしながら申請していかない農家や特例に該当する農家の確認を行い、該当する農家に対しては加入の働きかけを行っていきます。

各種イベントを実施 桜まつりキャラクターショー には約1000人訪れる

これまで開催した各種のイベントについては、4月14日

に「ぶなっこランド」で、県森づくり推進課と共催でキノコの植菌体験を行なっています。当日は、雨交じりの天候が影響し、参加者は30人と例年を下回りましたが、シイタケとナメコの植菌作業に心地よい汗を流していました。

八峰町桜まつりは、気象台の開花予想等をもとに4月14日から22日まで開催しましたが、3月の天候不順で桜の開花が大幅に遅れ、4月21日に催したキャラクターショーなどのイベントでは、桜は蕾のうち午前中は雨に見舞われました。条件は決してよくなかったものの、キャラクターショー目当ての子供達を中心に1000人程訪れております。御所の台ふれあいパーク



大盛況だったキャラクターショー

は、ゴールデンウィーク中に満開を迎え、公園内は観桜会や子供連れの観光客で賑わったところです。

5月27日には「二ツ森自然観察会」を開催し、遠くは千葉県からの参加もあり、総勢30人で雪渓を踏みしめながら二ツ森山頂を目指し、ミネザクラと白神山地の新緑に浸りました。

今年の4月と5月は、イベント開催時の天候に恵まれず、参加者も減少しましたが、6月23日からは、ラベンダー祭り、8月は5日にはポンポコ山音楽祭、15日には雄島花火大会などのイベントが計画されており。

下水道加入率向上を目指し 融資あっせん額を増額

下水道加入率向上方策については、今年度予算に関わる付帯意見にも上げられており、今後の町の対応策として5項目により回答を示したところです。

その内のひとつは、「融資あっせん額」の増額です。限度額を50万円から70万円に増額し、更に、適用期間を「供用開始から3年以内」を、「当該処理区の事業完了年度

から3年以内」に改正して、6月1日から規則改正を行い、実施しています。

また、町内の排水設備指定工事店に対しては、加入促進のため更なる営業努力をお願いしました。併せて、町の職員や第3セクター職員に対しては、課長会議等で早期加入方をお願いし、加入率向上に努めており、接続指導を更に強めていきます。

あきた白神体験センター 7月1日オープン 多彩な体験メニューを準備

7月1日にオープンする「あきた白神体験センター」は、本体工事と併せて外構工事も終了し、海辺への階段工事も順調に進捗しています。

この体験センターは、宿泊体験活動の機会を提供すると共に、海浜体験活動及び世界遺産白神山地を活用した環境学習、並びに周辺地域の自然環境を活用した多様な体験活動の機会を提供することのできる自然体験活動拠点となっており、県生涯学習課では今年最も力を入れている事業のひとつとなっております。

尚、体験センター管理運営については、今年度は県から



体験センター利用者第1号

社会教育主事2名を派遣していただき、町職員1名と臨時職員2名及び教育長兼務の所長を含めて計6名体制で当たることになっています。

9月2日、秋田わか杉国体 デモンストレーション行事 「トレッキング」開催

「秋田わか杉国体」のデモンストレーション行事として八峰町水沢山ブナの森公園を会場に実施する「トレッキング」の成功に向け、実行委員会を組織したところです。

実行委員会は、県の競技団体である秋田県山岳連盟を核に、水沢ダム管理事務所、能代山本広域消防の関係部署、八峰町体育協会、及び八峰白神ガイドの会等、町関係団体

で構成されており、第1回実行委員会を5月9日峰栄館で開催しました。

会議では、実施要綱並びに募集要項を決定し、早速6月11日から参加者の募集を開始しています。

又、開会前に実施される大会旗と炬火リレーは、八峰町を8月31日に通過する予定で、リレー走者として一般4名、中学生4名、小学生12名が決定しています。リレーコースも決定し、役場庁舎前で歓迎式、並びに出発式が行われ、リレーは八森地区から国道を南下して峰浜地区を通過し、三種町に引き継がれることになっています。

今後関係各位のご協力を頂きながら、46年ぶりに本県で開催される秋田わか杉国体の成功に向け、八峰町としても出来る限りの協力をしていきたいと考えています。

